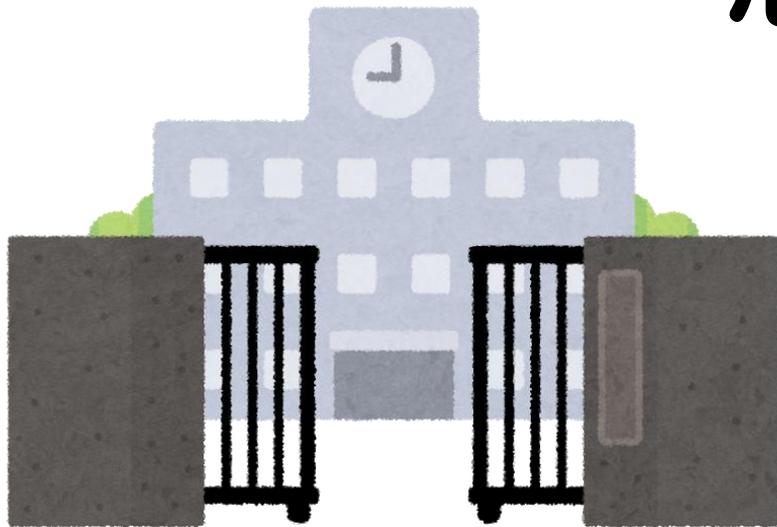


緊急避難場所の開放と 感染症対策

(9. 30Vr.)



災害からの避難と感染症対策

はじめに

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の発生により、日常的に感染拡大防止のための対策が必要となります。

感染拡大防止のためには「3密」（密閉・密集・密接）の回避と飛沫の防止、接触の防止がたいせつです。

しかし、避難所は不特定多数の人々が集まり、「3密」や飛沫感染、接触感染が起こりやすく、対策を怠ると集団感染やクラスターの発生を招く恐れがあります。

新型コロナウイルス感染症だけでなく、インフルエンザ、ノロウイルス等あらゆる感染症への対策が必要です。

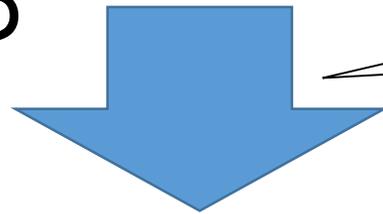
ここでは避難所での感染防止対策をわかりやすくまとめるとともに、避難所施設管理者、避難所運営者、避難者が感染対策を理解し、共に協力することで、感染リスクの低い安全な避難所運営を目指します。

「緊急避難場所」と「避難所」の違いは

緊急避難場所：

大雨や台風の接近、地震の発生により、
災害から逃れるために一時的に滞在する
ことができるところ

避難場所の開放は
まずは緊急避難から



同じ施設の場合でも役割を
緊急避難場所→避難所へ変更します

避難所： 自宅や居所が被災するなど、
暫くの間、避難生活を送るところ

災害時の緊急避難場所の開放について

風水害

	警戒レベル1	警戒レベル2	警戒レベル3 (避難準備・高齢者等避難開始)	警戒レベル4 (避難勧告 避難指示(緊急))	警戒レベル5 (災害発生)
緊急避難場所の開放状況	× (○自主避難者は受け入れ)	× (○自主避難者は受け入れ)	○	○	○

地震災害

	震度4	震度5弱 警戒本部	震度5強 対策本部	震度6弱 対策本部	震度6強 対策本部	震度7 対策本部
緊急避難場所の開放状況	×	× (○自主避難者は受け入れ)	○	○	○	○

緊急避難所を開放するときに気をつけること

- その1
- 避難所には不特定多数の人が集まってきます。
人と人の接触をできるだけ少なくします。
 - 体調の悪い人、発熱や風邪のような症状のある人がいる場合。
他の避難者、**避難所担当職員**への感染拡大防止の対策をとりましょう。
 - 高齢者、乳幼児、妊婦、障がい者など、普段から配慮が必要な方への配慮も忘れず行いましょう。
- その2
- 避難者を受け入れるための事前準備をしましょう。
(準備品チェックリスト)
 - 感染を広げないためには、殺菌、消毒、清潔 清掃
避難者の居住スペースや配置をあらかじめ考えておきましょう。
 - 施設内の清潔を保つことが重要です。**下足と上ばきの境界を決め、居住スペース近くまで下足にはしない。(避難者数が増加したとき、または避難所となったとき)**

緊急避難場所の開放〈1〉

まずは避難者を受け入れるための準備を整えます。

- 出入口に案内表示（夜間は照明をつける）
- 入り口を1箇所にして避難者を把握する
- 受付の設置
- ◇ 靴を脱ぐ場所を決める ガムテープなどで表示する（下靴用袋の配布）
- 出入口または受付までの間に手指消毒薬の準備
- 感染拡大防止への協力依頼（感染拡大防止の注意事項チラシの配布）
- 検温の実施
- 体調の確認（PCR検査対象者、濃厚接触者等できるだけ詳しく確認）
- マスクを持参されていない方へマスクの配布（持参を原則とします）
- 避難者名簿の作成（様式と筆記用具）
- ◇ 体調が優れない人の把握とパーテーションの準備
- 避難者（世帯）ごとに間隔を開けて収容する（約2m）
- 感染対策以外に配慮の必要がある場合の準備
（高齢者、乳幼児、妊婦、障がい者・・・）
- ◇ 屋外避難者（車中泊等）「登録済証」

□・・・必ず行います。

◇・・・必要に応じて行います。

準備品チェックリスト

- | | | |
|---|--|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> マスク | <input type="checkbox"/> 使い捨て手袋 | <input type="checkbox"/> 避難所表示 |
| <input type="checkbox"/> 体温計 | <input type="checkbox"/> 防護服 | <input type="checkbox"/> 筆記用具 |
| <input type="checkbox"/> 手指用消毒薬
(アルコール消毒) | <input type="checkbox"/> フェイスシールド | (クリップペンシルなど) |
| <input type="checkbox"/> プッシュボトル | <input type="checkbox"/> ペーパータオル | <input type="checkbox"/> 油性マジック |
| <input type="checkbox"/> 拭式用消毒薬
(次亜塩素酸Na溶液等) | <input type="checkbox"/> ペーパーモップ(ウェット) | <input type="checkbox"/> 避難者名簿 |
| <input type="checkbox"/> スプレーボトル | <input type="checkbox"/> 粘着クリーナー(コロコロ) | <input type="checkbox"/> 避難者配布用チラシ |
| <input type="checkbox"/> ハンドソープ | <input type="checkbox"/> トイレクリーナー | <input type="checkbox"/> A4・A3コピー用紙 |
| <input type="checkbox"/> 毛布 | <input type="checkbox"/> 除菌シート | <input type="checkbox"/> セロハンテープ |
| <input type="checkbox"/> マット | <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ | <input type="checkbox"/> 養生テープ(区分け用) |
| <input type="checkbox"/> パーテーション | <input type="checkbox"/> タオル | <input type="checkbox"/> ガムテープ |
| <input type="checkbox"/> ゴミ袋 | <input type="checkbox"/> レジ袋(下靴収納用) | <input type="checkbox"/> クリアファイル |
| | <input type="checkbox"/> ペダル式ゴミ箱 | <input type="checkbox"/> 用箋はさみ |
| | | <input type="checkbox"/> ホチキス・クリップ |



※物品すべてが準備されているわけではありません。

緊急避難場所の開放〈2〉

避難者を受け入れましょう。

- 担当者の感染予防対策を実施（マスク、手袋、フェイスシールド、防護服）
 - 一人ずつ手指消毒を実施（手洗い）
 - 感染拡大防止の協力依頼
 - 検温
 - 避難スペースへの誘導
 - 避難者名簿への記入依頼
-
- 受付や避難者の使用する場所のこまめな消毒
 - 居住スペースの換気
 - 定期的にトイレ、手洗い場の清掃
 - 定期的に床、廊下など共用部の清掃



緊急避難場所の開放〈3〉

避難者に感染者または感染疑いのある人がいたら



- 発熱、咳症状などがある（検温、申し出等で確認）
 - その他の避難者と同室を避け別室に案内する
 - 個別対応できればよいが、症状がある人同士で同室とする場合は必ずそれぞれに間仕切り（パーテーション）を利用し、2m以上の間隔をあける
 - 専用トイレや洗面を設けることができれば感染者専用とする
 - トイレや洗面は利用の都度、消毒薬やシートで払拭するなど消毒に努める
- 避難所となる施設の構造によって利用する場所が異なるため、それぞれの施設で感染者や配慮が必要な避難者用の居住スペースについてあらかじめ決めておく必要がある
- 発熱や症状のある避難者を受け入れた場合、避難中に症状が出た場合、速やかに本部に連絡してください。

緊急避難場所の開放〈4〉



想定以上の避難者が避難してきたら・・・
距離を確保できないほど避難者が避難してきたら・・・

- 感染症のリスクが高くなっても避難者は一旦受け入れなくてはなりません。
(災害による避難のため、受け入れを拒む事は好ましくありません)
- 濃厚接触者、症状のある方（発熱、風邪症状）を把握します。
- それぞれの施設内で濃厚接触者、症状のある方とそのほかの避難者をどのように受け入れるか、レイアウトを確認し受け入れます。
- 施設内が過密になったとき、**災害対策本部**や**近隣避難所**へ連絡し、避難者の移動が可能であれば別の避難所との**人数調整**を行います。

避難場所の閉鎖

避難者が退去したら

- 避難者が使用した部屋、物品、トイレ等、払拭消毒できるものは消毒する。
 - パーテーションは消毒薬で払拭し、天日干し後収納する。
 - マット、テーブルは消毒薬で払拭後、収納する。
(一方方向にふき取ること)
 - トイレ、洗面所の清掃
 - 毛布は大型ゴミ袋等にまとめる（防災安全課で回収）
 - ゴミは袋等に入れ、しっかり口を縛って処分する。

※消毒や清掃ができない場合は、その施設管理者に必ず伝達してください。



清掃のとき注意すること

消毒薬の飛沫を吸い込まないように
払拭用の布やペーパーにスプレーする



洗面台やその周りは飛沫が
おきやすいので、こまめに水滴を
ふき取る



床にも飛沫が付着しやすいため
こまめに清掃する

払拭するときは**一方方向に拭く**



**フタを閉めてから
流してください**

トイレを流すとしぶきとなって飛沫
するので、**便座のふたを閉めてから**
汚物を流す。

マスクを着用
してください



避難者配布用

避難所を利用される方へ

避難所は多くの人が集まるため、感染症が広がりやすいところです
ひとりひとりの心がけで新型コロナウイルスなどの感染症を防ぎましょう

- 避難所に入るときは手洗いや手指消毒を行いましょう。
- トイレを利用した後は必ず手洗いを
行い、備え付けの便座消毒液があれば
拭拭します。
- 体温を測りましょう。
- マスクの着用をお願いします。
- 体調が悪くなったら
早めに申し出てください。
- ゴミはできる限り持ち帰りましょう。



フタを開けてから
流してください



□ 避難所の中では大声を出したり、近距離や長時間のおしゃべりは控えてください。



□ 飲食される場合は、会話を少なくし、同じ容器での食べ物や飲み物を家族外で分け合ったりしないください。



感染拡大防止のため、立ち入りできる箇所を制限する場合があります。

登録済証

発行日 年 月 日

緊急避難場所名

受付番号

※避難者名簿の番号を記入

※ダッシュボードの見えやすいところへ掲示してください。
決められた場所に駐車し、敷地内の走行には十分注意してください。

新型コロナウイルス感染症対応時の避難所レイアウト（例）〈避難受付時〉

R2. 5. 20
第1版

専用階段、専用トイレの確保をする。（専用階段について、確保が難しい場合は、時間的分離・消毒等の工夫をした上で兼用することもあり得る。健康な者との兼用は不可。）

専用スペースと専用トイレ、独立した動線を確保できない場合は、濃厚接触者専用避難所を別途開設することも考えられます。

軽症者等（一時的）

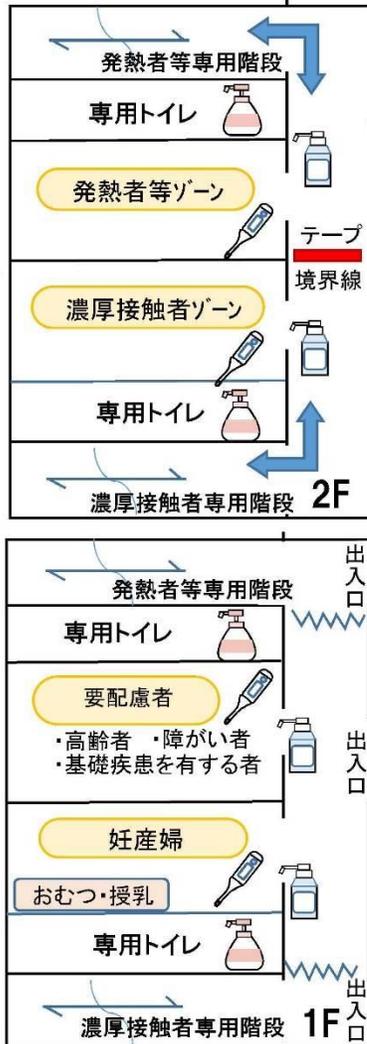
・軽症者等は、予め災害時の対応・避難方法等を決めておくことが望ましい。

・軽症者等及び新型コロナウイルス感染症を発症したと疑われる者の対応については、防災担当部局と保健福祉部局等が十分に連携の上で、適切な対応を事前に検討する。

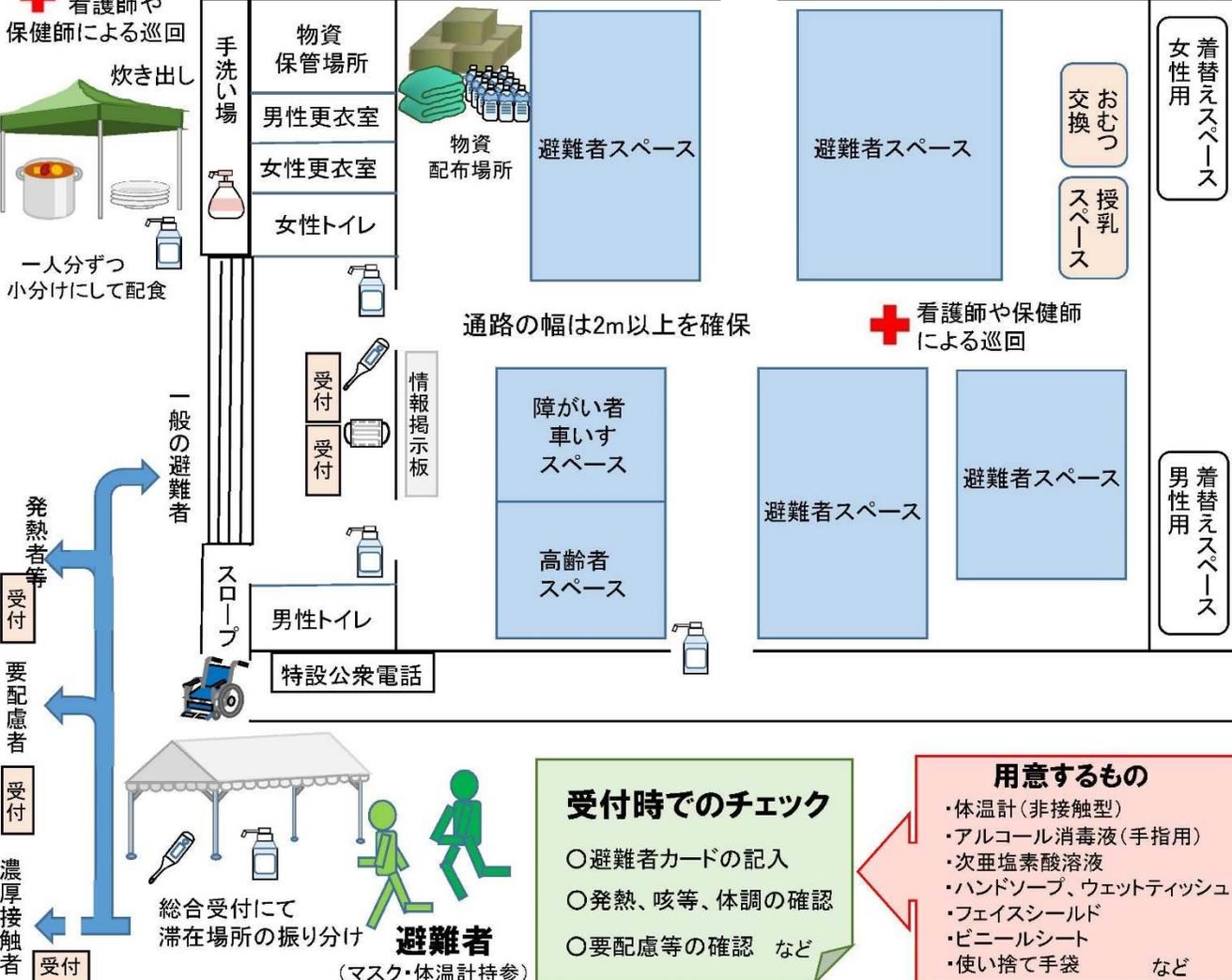
・軽症者等が一時的に避難所に滞在する場合、一敷地内の別の建物とする。
同一建物の場合、動線を分け、専用階段とスペース、専用のトイレ、専用風呂等が必要

※軽症者等であっても原則として一般の避難所に滞在することは適当でないことに留意する。

<専用スペース>



<集合スペース>



受付時でのチェック

- 避難者カードの記入
- 発熱、咳等、体調の確認
- 要配慮等の確認 など

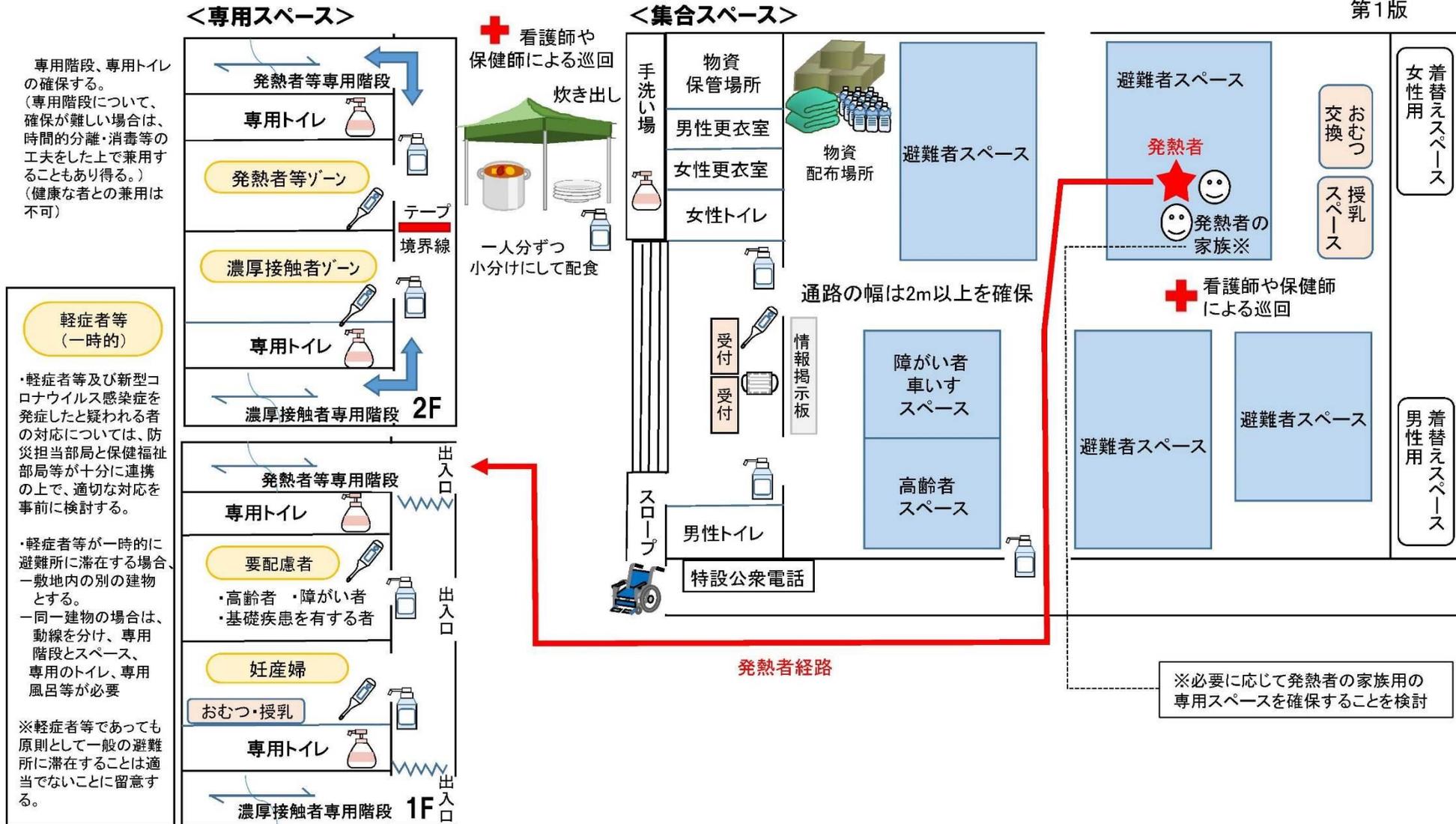
用意するもの

- ・体温計（非接触型）
- ・アルコール消毒液（手指用）
- ・次亜塩素酸溶液
- ・ハンドソープ、ウェットティッシュ
- ・フェイスシールド
- ・ビニールシート
- ・使い捨て手袋 など

※ 上記は全て実施することが望ましいが、災害時において、種々の制約が想定され、出来る範囲で最大限実施することが望まれる。

新型コロナウイルス感染症対応時の避難所レイアウト（例）〈避難受付以降〉

R2. 5. 20
第1版



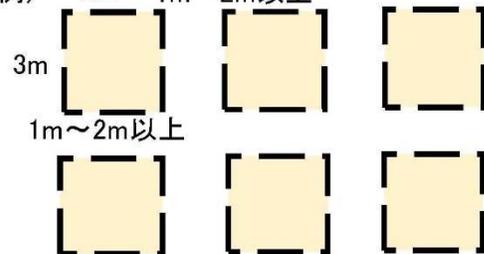
※ 上記は全て実施することが望ましいが、災害時において、種々の制約が想定され、出来る範囲で最大限実施することが望まれる。

健康な者の避難所滞在スペースのレイアウト（例）

- 体育館のような広い空間において、健康な者が滞在するスペースとしては、以下のような方法が考えられる。
- 感染リスクの高い高齢者・基礎疾患を有する者・障がい者・妊産婦等が滞在する場合には、避難所内に専用スペースを設けることが望ましいが、体育館内に専用ゾーンを設け、以下と同様の考え方で利用することも考えられる。

テープ等による区画表示

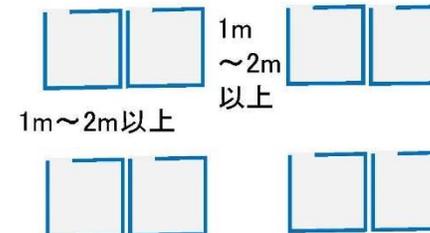
(例) 3m 1m~2m以上



- 一家族が一区画を使用し、人数に応じて区画の広さは調整する
 - 家族間の距離を1m以上あける
- ※スペース内通路は出来る限り通行者がすれ違わないように配慮する必要がある

テントを利用した場合

(例)

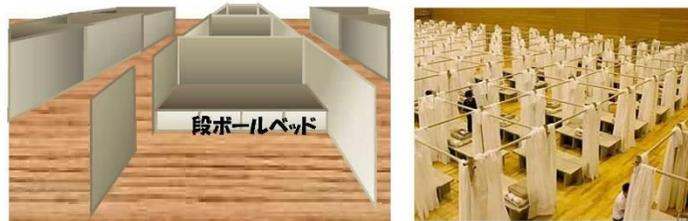
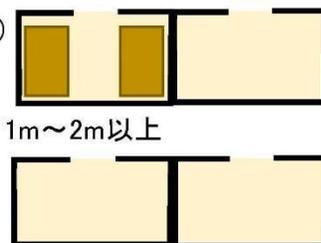


- テントを利用する場合は、飛沫感染を防ぐために屋根がある方が望ましいが、熱中症対策に十分注意することが必要

パーティションを利用した場合

- 飛沫感染を防ぐため、少なくとも座位で口元より高いパーティションとし、プライバシーを確保する高さにすることが望ましい。また、換気を考慮しつつ、より高いものが望ましい。

(例)

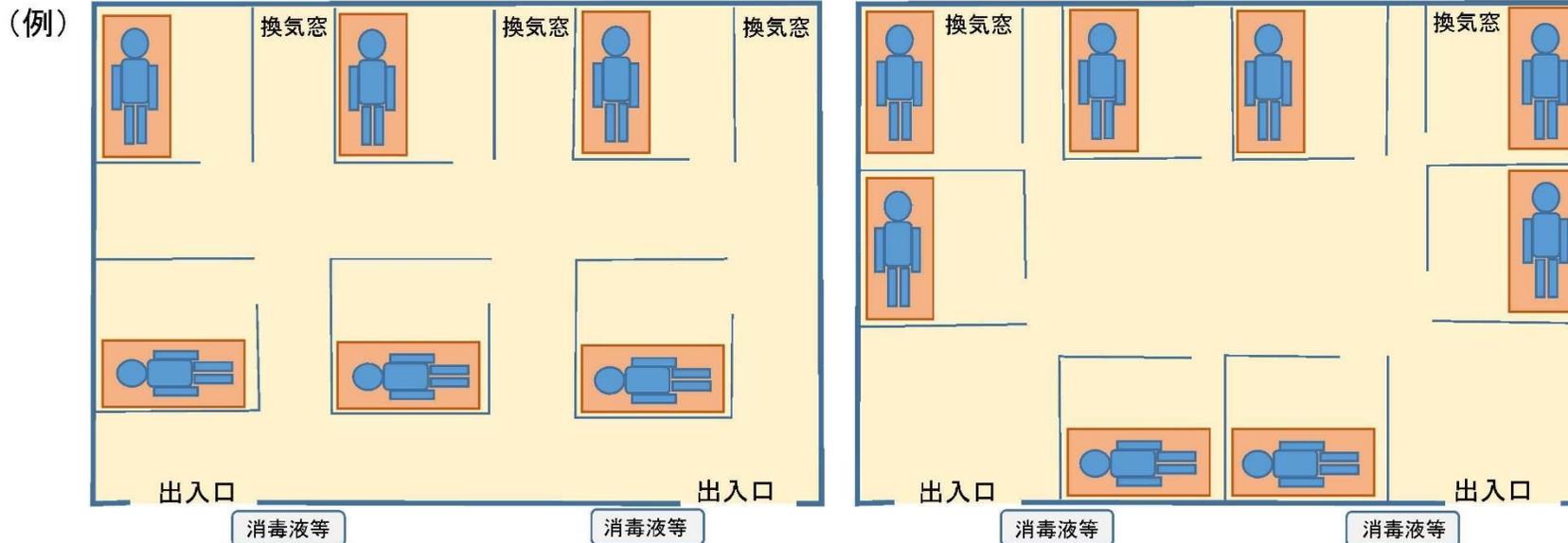


※ 人と人の間隔は、できるだけ2m(最低1m)空けることを意識して過ごしていただくことが望ましい。

※ 上記は全て実施することが望ましいが、災害時において、種々の制約が想定され、出来る範囲で最大限実施することが望まれる。

発熱・咳等のある者や濃厚接触者専用室のレイアウト（例）

- 発熱・咳等のある者は、可能な限り個室にすることが望ましいが、難しい場合はそれぞれ専用のスペースを確保する。やむを得ず同室にする場合は、パーティションで区切るなどの工夫をする。
- 濃厚接触者は、可能な限り個室管理とする。難しい場合はそれぞれ専用のスペースを確保する。
※濃厚接触者は、発熱・咳等のある者より優先して個室管理とする。

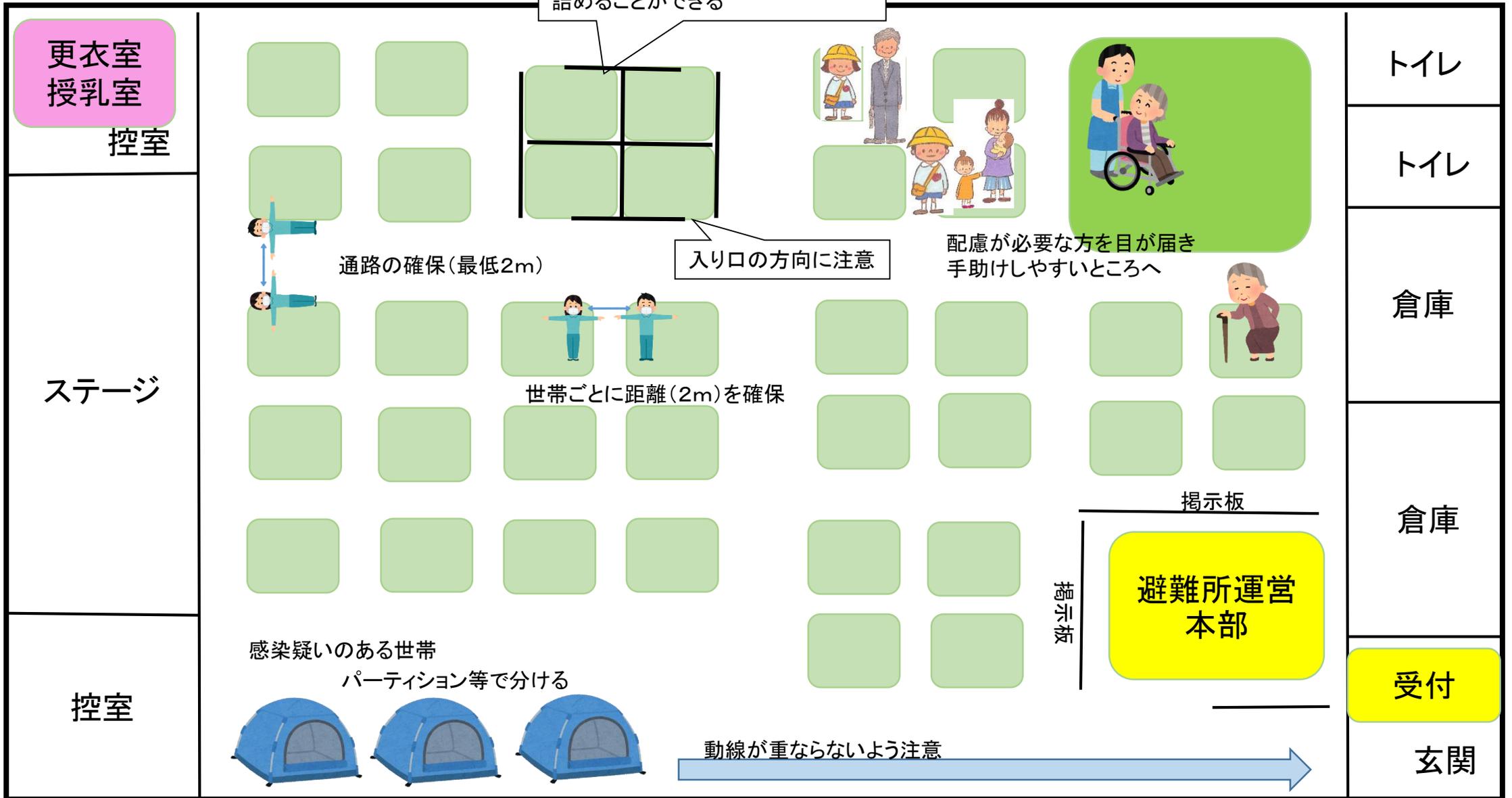


※飛沫感染を防ぐため、少なくとも座位で口元より高いパーティションとし、プライバシーを確保する高さにするのが望ましい。また、換気を考慮しつつ、より高いものが望ましい。

- ・軽症者等は、予め災害時の対応・避難方法等を決めておくことが望ましいが、避難所に一時的に滞在する場合がある。
- ・感染予防および医療・保健活動のしやすさの観点から、地域における感染拡大状況や、各避難所、活用するホテル・旅館等の状況を踏まえ、防災担当部局や保健福祉部局等の連携のもと、必要に応じて特定の避難者の専用の避難所を設定することも考えられる。
(例:高齢者・基礎疾患を有する者・障がい者・妊産婦用、発熱・咳等の症状のある者用、濃厚接触者用)

※ 上記は全て実施することが望ましいが、災害時において、種々の制約が想定され、出来る範囲で最大限実施することが望まれる。

避難スペースのレイアウト (例)



更衣室
授乳室
控室

ステージ

控室

パーティションがある場合は距離を詰めることができる

通路の確保(最低2m)

入り口の方に注意

世帯ごとに距離(2m)を確保

配慮が必要な方を目が届き手助けしやすいところへ

感染疑いのある世帯
パーティション等で分ける

動線が重ならないよう注意

掲示板

掲示板

避難所運営
本部

トイレ

トイレ

倉庫

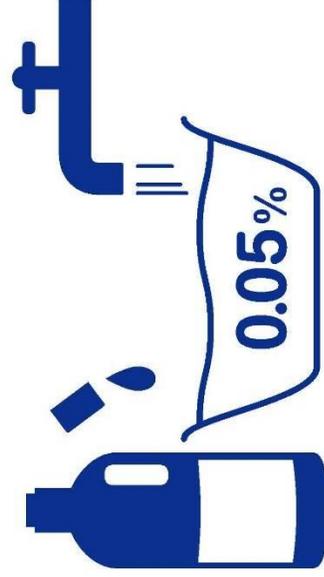
倉庫

受付

玄関

参考

0.05%以上の次亜塩素酸ナトリウム液の作り方

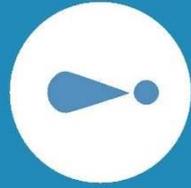


以下は、次亜塩素酸ナトリウムを主成分とする製品の例です。
商品によって濃度が異なりますので、以下を参考に薄めてください。

メーカー (五十音順)	商品名	作り方の例
花王	ハイター	水1Lに本商品 25mL (商品付属のキャップ1杯)
	キッチンハイター	水1Lに本商品 25mL (商品付属のキャップ1杯)
カネヨ石鹸	カネヨブリーチ	水1Lに本商品 10mL (商品付属のキャップ1/2杯)
	カネヨキッチンブリーチ	水1Lに本商品 10mL (商品付属のキャップ1/2杯)
ミツエイ	ブリーチ	水1Lに本商品 10mL (商品付属のキャップ1/2杯)
	キッチンブリーチ	水1Lに本商品 10mL (商品付属のキャップ1/2杯)

【注意】

- 使用にあたっては、商品パッケージやHPの説明をご確認ください。
- 上記のほかにも、次亜塩素酸ナトリウムを成分とする商品は多数あります。
表に無い場合、商品パッケージやHPの説明に当たってご使用ください。



感染症対策へのご協力を お願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、
「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

① 手洗い

正しい手の洗い方

手洗いの前に
・爪は短く切っておきましょう
・時計や指輪は外しておきましょう



1

流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



2

手の甲をのばすようにこすります。



3

指先・爪の間を念入りにこすります。



4

指の間を洗います。



5

親指と手のひらをねじり洗います。



6

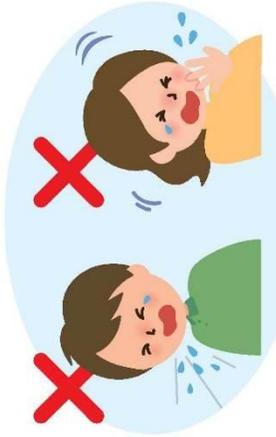
手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

② 咳エチケット

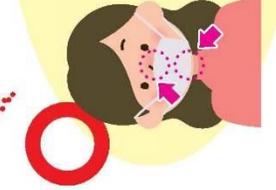
3つの咳エチケット

電車や職場、学校など
人が集まるところでやろう



咳やくしゃみをする
何もせずに

咳やくしゃみを
手でおさえる



マスクを着用する
(口・鼻を覆う)



ティッシュ・ハンカチで
口・鼻を覆う



袖で口・鼻を覆う

正しいマスクの着用



1 鼻と口の両方を
確実に覆う



2 ゴムひもを
耳にかける



3 隙間がないよう
鼻まで覆う



首相官邸
Prime Minister's Office of Japan



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

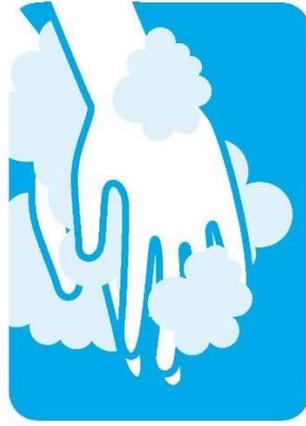
厚労省

検索



新型コロナウイルス対策 身のまわりを清潔にしましょう。

石けんやハンドソープを使った
丁寧な手洗いを行ってください。



手洗いを丁寧に行うことで、
十分にウイルスを除去できます。
さらにアルコール消毒液を
使用する必要はありません。

手洗い	残存ウイルス
手洗いなし	約 100 万個
石けんや ハンドソープで 10 秒もみ洗い後 流水で 15 秒すすぐ	約 0.001% (数十個)
	約 0.0001% (数個)

(森功次他：感染症学雑誌、80:496-500,2006 から作成)

食器・手すり・ドアノブなど身近な物の消毒には、
アルコールよりも、熱水や塩素系漂白剤が有効です。

(新型コロナウイルスだけでなく、ノロウイルスなどにも有効です)



食器や箸などは、80℃の熱水に
10分間さらすと消毒ができます。
火傷に注意してください。



濃度 0.05% に薄めた上で、
拭くと消毒ができます。
ハイター、ブリーチなど。
裏面に作り方を表示しています。

【注意】

- ・家事用手袋を着用して行ってください。
- ・金属は腐食することがあります。
- ・換気をしてください。
- ・他の薬品と混ぜないでください。